

令和6年度 課題別普及活動計画

1 地域課題一覧

(○ 重点的に取り組む地域課題)

課題番号	課題名 (関連事業)	具体的 推進事項	主たる 対象市町	普及対象	担当者	活動期間
1	○次世代につながる洞爺湖町農業	クリーン農業技術の向上による生産性・収益性向上 ・緑肥やイネ科作物を導入した輪作体系の確立 秋まき小麦の生育量に応じた分追肥実施戸数 (0→0→3戸)	洞爺湖町	成香地区 (15戸)	地域係 各担当	R 3～7
		基幹作物の生産性向上 ・てんさいの生産性向上 褐斑病予察ほ場設置戸数 (3→3→6戸)		てんさい 作付農家 (10戸)	地域係 各担当	
2	新規作物の産地形成	伊達市におけるさつまいも安定生産 ・積算気温に基づいた適期収穫実践戸数 (0→0→5戸)	伊達市	さつまいも生産者 (14戸)	地域係 各担当	R 5～6
3	りんご高密度植栽培の導入に向けた栽培特性調査および地域体制の整備	試験展示ほの実施 ・試験展示ほ実施カ所数 (0→1→3カ所) 取組実施農家 ・実施農家戸数 (0→0→1戸)	壮瞥町	壮瞥町 果樹組合 (26戸)	地域係 各担当	R 5～6

課題 番号	課題名 (関連事業)	具体的 推進事項	主たる 対象市町	普及 対象	担当者	活動期間
4	新規参入者の定着支援	研修、交流機会の創出 ・研修、交流会への延べ出席戸数 (3→3→6戸) 所得確保へ向けた作付品目や栽培方法の見直し ・作付け品目・栽培方法見直し戸数 (0→0→1戸)	豊浦町	新規参入者 ・研修生 (5戸)	地域係 各担当	R 6～7

課題番号	課題名 (関連事業)	具体的 推進事項	主たる 対象市町	普及 対象	担当者	活動期間
5	○次世代へつな げる活気あふ れる地域農業 の実現	花岡版人・農地プ ランに基づいた生 産基盤の強化 ・地域計画と基盤 整備プランの策定 支援 (0→0→1)	むかわ町	花岡地区 (23戸)	地域 第一係 各担当	R 3～7
		労働力に即した栽 培体系による経営 の効率化 ・基幹野菜の労働 力に即した栽培体 系の確立 (0→0→3戸)			地域 第一係 各担当	
		園芸作物の生産性 向上 ・トマトの安定生 産技術の向上 (技術項目60%達 成農家戸数 0→0→4戸)			地域 第一係 各担当	
6	花きの安定生 産	アルストロメリア の安定生産 ・高温対策の実施 (0→1戸)	むかわ町	鶺川花き 生産組合 アルスト ロメリア 部会 (3戸)	地域 第一係 各担当	R 6
7	水稻高密度は種 栽培の健苗育成 支援	高密度は種栽培に おける健苗育成技 術の向上 ・苗質調査の目標 点数4.0以上達成 者数(0→6名) ・特に重要な健苗 育成技術5項目以 上取組み者数 (0→5名)	むかわ町	稲作研究 協議会 (28戸)	地域 第一係 各担当	R 6

課題番号	課題名 (関連事業)	具体的 推進事項	主たる 対象市町	普及 対象	担当者	活動期間
8	○地域資源を活かし多様な農業の発展と地域コミュニティの維持を目指す	新規参入者の定着支援 適正な栽培技術項目80%達成戸数 (0→3→3戸) ----- 多様性に富んだ地域の維持 地域内交流機会の促進 (1→1→3回)	厚真町	豊丘地区 (14戸)	地域 第二係 各担当 地域 第二係 各担当	R 3～7
9	水稲技術レベルの向上と担い手育成	水稲栽培技術の向上 勉強会の開催 (0→4回)	厚真町	厚真町青年 農業者グループ (11名)	地域 第二係 各担当	R 6
10	春まき小麦の安定生産	春まき小麦栽培講習会の実施 (0→2回)	安平町	安平町追分 春まき小麦生産者 (26戸)	地域 第二係 各担当	R 6～7

2 広域推進事項一覧

業務区分	推進事項名	活動項目	主たる対象市町	普及対象	担当者
担い手	新規参入者の定着	関係機関の受入体制整備	管内全域	管内各市町の受入組織	担い手各担当
		新規参入者の定着支援	管内全域	管内新規参入者	
情報・クリーン・有機	普及情報活動の推進	農業者の経営に寄与するタイムリーな情報発信	管内全域	管内農業者	情報各担当
	クリーン農業の推進	環境保全型農業への理解醸成と取組支援	管内全域	管内農業者	クリーン・有機各担当
高付加価値化	高付加価値化の推進	地域農産物の高付加価値化に向けた活動支援	管内全域	管内農産物直売生産者協議会	高付加価値化各担当
		販売力強化・情報伝達づくり	管内全域	西胆振管内直売出荷者・運営組織	